

開館日カレンダー 2022年10月～2023年3月までの予定

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■ 休館日
 ■ 特別展「人形作りいろはの“い”」
 ■ 企画展「描かれた雛祭り(仮)」
 ■ 展示室1・2(常設展)のみ開室
 ★ ワークショップ
● 常設展展示解説 午後2時～ ※申込不要、要観覧券
◆ 特別展関連イベント
✳ 特別講演会
 ※特別展会期中、「着物で岩槻」を開催します。着物で岩槻人形博物館に来館すると、観覧料が無料になります。

これからの展覧会

企画展「描かれた雛祭り(仮)」

2023年1月28日(土)～3月19日(日)
 毎年この時期に行っている、当館恒例の雛祭りの展覧会。今回は古典の雛人形のほか、雛人形が描かれた浮世絵等を展示します。当館ならではの雛祭りをどうぞお楽しみください。

右「豊歳 五節句ノ遊」上巳の節句 歌川国貞
 天保14～15年(1843～1844)頃
 左「源氏十二ヶ月之内 弥生」歌川国貞(三代豊国)
 安政2年(1855)



【にぎわい交流館いわつき】

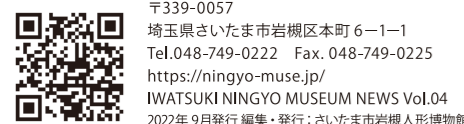
博物館に隣接する、にぎわい交流館いわつきでは、体験講座やイベント、カフェ・ショップでの食事や買物をお楽しみいただけます。
 (Tel.048-757-2981 / Fax.048-793-4074)
 ※イベント等の詳細は、ホームページをご覧ください。https://www.nigiwai-koryukan.jp/



■ 基本情報

【開館時間】 午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで
【休館日】 月曜日(休日の場合は開館) / 年末年始(12月28日～1月4日) ※臨時に休館・開館することがあります。
【観覧料】 一般：300円(団体：200円) / 高校生・大学生・65歳以上：150円(団体：100円) / 小学生・中学生：100円(団体：50円)
 ※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。※団体は20名以上。
 ※展覧会により観覧料が異なる場合があります。
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館を制限したり、展示・イベント等を予告なく中止・変更する場合があります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。
 ※掲載資料のうち、特に表記のないものはさいたま市岩槻人形博物館蔵です。

インスタグラムで情報発信しています!
https://www.instagram.com/iwatsuki_ningyo_museum/?utm_source=qr



〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1
 Tel.048-749-0222 Fax.048-749-0225
<https://ningyo-muse.jp/>
 IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS Vol.04
 2022年9月発行 編集・発行：さいたま市岩槻人形博物館



◎交通案内

【電車をご利用の場合】 東武アーバンパークライン(野田線)「岩槻駅」から徒歩約10分
 ※大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。
【車をご利用の場合】 東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分
 ※駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきとの共用です。



IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS



頭師の工房 イラスト：菅澤真衣子

特集

特別展「人形作りいろはの“い” ～後世に伝えたい桐塑の技～」

Contents
 特別展「人形作りいろはの“い”～後世に伝えたい桐塑の技～」 / 常設展 Close-up
 イベント・グッズ Information / 学芸員の研究ノート 第4回「人形作りにかかる時間はどのくらい?」
 開館日カレンダー / これからの展覧会



特別展

「人形作り いろはの“い” ～後世に伝えたい桐塑の技～」

2022年9月23日(金・祝) — 12月4日(日) / 展示室3

私たちにとって身近な存在である人形。しかし、その作り方はあまり知られていないのではないのでしょうか。人形の種類や時代によっても技法や素材は様々あり、とても奥深いものです。

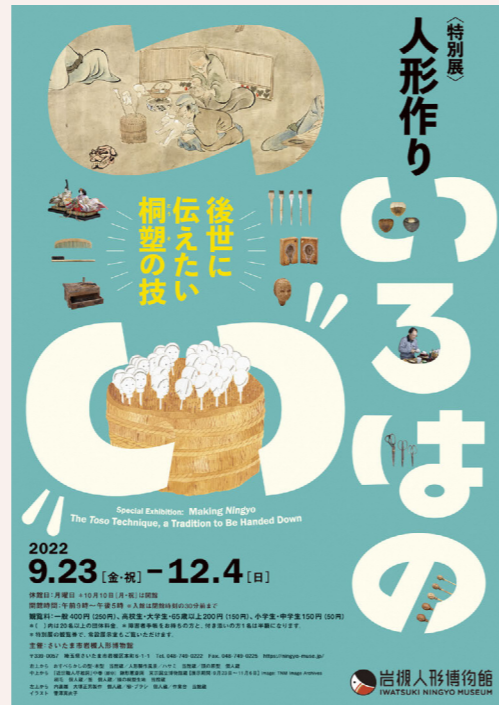
さいたま市岩槻区は日本有数の人形産地として知られ、伝統的な製作技法である桐塑の技が受け継がれてきました。本展では、人形作りをテーマとする展覧会の第一弾として桐塑頭を紹介し、人形に欠かせない材料に関するワークショップも開催します。見て知って触って! どうぞお楽しみください。

《観覧料》

一般/400円(250円)、高校生・大学生・65歳以上/200円(150円)、小学生・中学生/150円(50円)
※()内は20名以上の団体料金。※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。
※特別展の観覧券で常設展示室もご覧いただけます。

《関連イベント》

- 1 講演会「桐塑を用いた人形作りの技—職人技の在処—」
日時：10月23日(日)午後2時～3時30分 / 講師：内田幸彦氏(埼玉民俗の会会員)
- 2 講演会「伝統的な日本の色材—胡粉を中心に—」
日時：11月5日(土)午後2時～3時30分 / 講師：荒井経氏(東京藝術大学大学院美術研究科教授)
- 3 ワークショップ「にんらボ特別編」
①なかのヒミツ 桐塑編 日時：10月15日(土) 午後1時30分～3時
②はだのヒミツ 胡粉編 日時：11月12日(土) 午後1時30分～3時
ゲストティーチャー：①②ともに松口一栄氏(頭師)
- 4 当館学芸員による展示解説
日時：10月8日(土)、30日(日)、11月19日(土) 午後2時～ 各回30分程度
*関連イベント①～③の申込方法等詳細は、展覧会チラシ及び当館ホームページをご覧ください。



見どころ紹介 **ぜひ** を見てください!

人形のなかのヒミツ!? 桐塑ってなに?

桐の粉と生麩糊(糊の一種)を粘土状に練って作った素材を桐塑といひ、桐塑生地を型抜きして作られた人形の頭を桐塑頭と呼びます。練り頭などとも言われていました。桐塑生地に胡粉(貝殻を砕いた白色の顔料)を塗り重ね、面相・髪を仕上げて完成します。ほとんどの工程を手作業で行う桐塑頭は、職人の技の結晶といえます。

本展では、ホンモノの人形師をゲストティーチャーとしてお迎えし、実際に桐塑生地を練って、頭の型抜きにチャレンジするワークショップ「にんらボ特別編 ①なかのヒミツ桐塑編」を開催します。「桐塑ってどんな感触?」「型抜きってカンタンじゃないの?」その答えは、ワークショップで! みなさまのご参加をお待ちしております♪



桐塑生地の型抜き

人形の白い肌を迫る「にんらボ特別編 ②はだのヒミツ 胡粉編」もあります。大人の方の参加も大歓迎です!



イラスト：菅澤真衣子

常設展

Close-up

展示室2「コレクション展示 日本の人形」も定期的に展示替えを行っています。館を代表する名品や季節にちなむ一品をご紹介します。犬宮は約2年ぶりの公開です!

いぬぼこ
犬宮
江戸時代
展示室2
2022年9月13日(火)
～12月4日(日)



子孫繁栄のシンボルである犬のフォルムをした調度品。張り製で上下に開く筥(箱)になっており、一対で飾られました。華やかに吉祥文様が描かれています。神秘的でありつつも、かわいらしく、当館の人気者です。

さぎちょう
左義長羽子板
江戸時代
展示室2
2022年12月6日(火)～
2023年1月22日(日)



左義長羽子板は、小正月の魔除けの宮中行事である「左義長」の様子が描かれた、珍しい羽子板です。贈答品に用いられたもので、置き上げ彩色が施された豪華な作りです。正月らしさを堪能ください。

イベント・グッズ

Information

■さいたま市岩槻人形博物館・さいたま市大宮盆栽美術館連携事業 特別講演会「暮らしと人形—それはどこに置かれてきたか」

さいたま市岩槻人形博物館とさいたま市大宮盆栽美術館の連携事業として、木下直之先生による特別講演会を開催します。ぜひご参加ください。



講師：木下直之氏(静岡県立美術館館長、
神奈川大学特任教授、東京大学名誉教授)

日時：2022年11月26日(土) 午後2時～3時30分
会場：当館会議室 定員：30名 参加費：無料

※当館の公式YouTubeチャンネルで、ライブ配信も行う予定です。
※申込方法等詳細は、チラシ及び当館ホームページをご覧ください。

■ワークショップ「つくろう、ポチ袋～天神様ゆかりのウツドリ編～」

にんぱくオリジナルのポチ袋を作るワークショップを開催します。

日時：2022年11月27日(日) 午後2時～4時

※申込方法等詳細は、チラシ及び当館ホームページをご覧ください。

■ミュージアムグッズ

当館では所蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズを取り扱っています。オープンから少しずつ増え、今や40点以上。今回は、当館のスターである「犬宮」のグッズの中から2点をご紹介します。



「絵付け体験キット」は、職人さんになった気持ちで、犬宮にある吉祥文様を描いて、人形文化を楽しく学べます。「ワッペン」は、様々な素材に接着するので、色々なものが、にんぱくグッズに早変わり。ご観覧後は、ぜひショップにお立ち寄りください。

第4回 学芸員の研究ノート 人形作りにかかる時間はどのくらい?

連日多くの小学校が見学を訪れ、にぎやかな館内。当館のスタッフ・ボランティア一同張り切ってお迎えしています。小学生の皆さんからの質問No.1は、「人形1体ができるまで、どのくらい時間がかかりますか?」というものです。一言でお答えするのが難しいのですが、人形作りを理解するためにはとても大切な質問ですので、考えてみたいと思います。

雛人形や五月人形など、商品として販売される人形のほとんどは分業で作られています。まず、問屋が中心になって企画を考え、それに合わせて頭・胴・手足・小道具などを専門の職人が作り、最後に組み立てて完成します。

秋の特別展でスポットを当てる桐塑頭を例にすると、20以上の工程があり、数十～数百単位の頭を工程ごとに仕上げ進めていきます。そこで、各工程で頭1つあたりにかかる時間を算出していけば答えが出るのではないかと考えました。生地に胡粉を塗る地塗りの工程は1つあたり約10秒、固く練った胡粉で耳を作るのには約40秒。素早く正確な動きは、さすが職人の技!

しかし、塗るための胡粉を研ぐのにも時間がかかりますし、胡粉の原料となる貝殻は数年間風干させてから加工します。ほかにも、ガラス目や髪に使用するすが糸なども昔は専門の職人が作っていました。同様に、ほかのパーツを製作するためにも多くの工程があります。

このようにみえていくと、単純には計算できない!ということがわかりいただけると思います。1体の人形ができあがるまでには、職人を中心に多くの人々が携わり、たくさんの時間がかけられています。(学芸員 岩田明日香)



耳を作る様子 両耳で約40秒
松口人形 2018年撮影



桐塑頭の工程品 胡粉を塗る前
大塚正男製作 当館蔵